

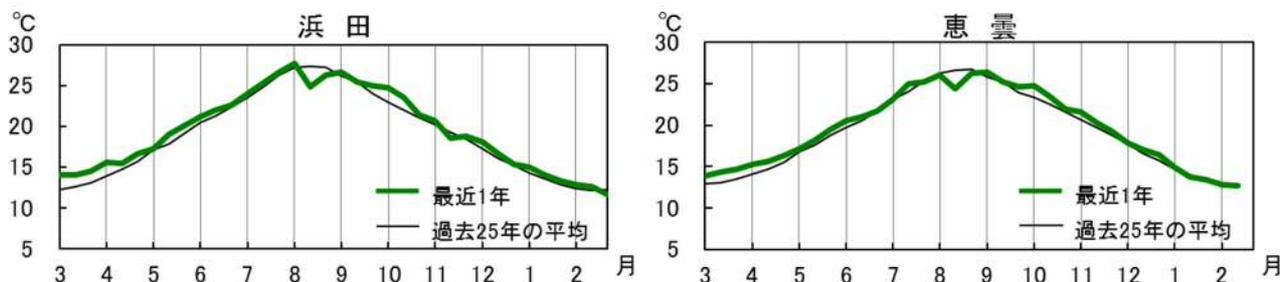


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《2月の海況》



2月	浜田			出雲		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	12.4℃	+0.2℃	平年並み	12.5℃	-0.3℃
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	やや低め			やや低め		



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2割、マアジは平年の1割でした。隠岐地区ではサバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は35.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は1,125トンで平年の4割、ブリは886トンで平年の3.5倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は561.6kgで平年を上回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は72.5kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アカムツ、アナゴ・ハモ類が主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.6倍、アカムツは平年の4.4倍、アナゴ・ハモ類は平年の2.4倍でした。その他、マトウダイは平年の3.8倍、カマスは平年の1.9倍、ソウハチは平年の1.5倍、アンコウ類は平年の1.2倍と好調でしたが、スルメイカは平年の4割、マフグは平年の2割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロが主体の漁況で、総漁獲量は175トンでした。1統1航海当りの漁獲量は955kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の5割、ソウハチは平年の6割、ヒレグロは平年の4割でした。その他、キダイおよびスズキは平年の1.6倍と好調でしたが、マダイは平年の1.0倍、アンコウ類は平年の8割、ニギスは平年の7割、アナゴ・ハモ類は平年の4割、アカムツは平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、サワラ類、ソウダガツオ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は12.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の7.3倍、サワラ類は平年の3割、ソウダガツオ類は平年の97倍でした。石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の2.5倍、サバ類は平年の1.7倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は13.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の6割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は36.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の4割、ブリは平年の2割でした。石見地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は31.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の3割でした。隠岐地区では、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27.1kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の7割でした。

【令和4年2月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類、ブリ	2,247トン	104%	42%	35.1トン	95%	55%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	5.6トン	43%	59%	561.6kg	77%	181%	◎
	西郷	スルメイカ	2.8トン	145%	108%	72.5kg	122%	43%	○
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アカムツ、アナゴ・ハモ類	216トン	92%	85%	13.5トン	120%	97%	○
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	175トン	67%	52%	955kg	71%	93%	○
定置網 (大型)	出雲	サバ類、サワラ類、ソウダガツオ類	85.0トン	79%	59%	12.1トン	90%	66%	▲
	石見	マアジ、サバ類	8.6トン	281%	39%	4.3トン	422%	61%	○
	隠岐	スルメイカ	26.9トン	43%	64%	13.5トン	43%	64%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類、ブリ	13.2トン	26%	27%	36.6kg	50%	69%	▲
	石見	サワラ類	10.9トン	60%	37%	31.3kg	95%	94%	○
	隠岐	ブリ	10.2トン	43%	54%	27.1kg	110%	85%	○

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ